清忠征伐に出陣し羽前新潟への案下より白雪
羅紗新久とあるハ尚協のなりしまや
羽源記を見るに義光の弟ハ協五十郎と
いふ人（白雪を協五と当て誤りしなへし）正任しち信濃と称す
家のるよ橋宮勘十郎（実名は羽柴秀吉なり）曾根の孫
として勇士ありき一つるハ佐竹義宣家
海林市ゝ三郎実沢源ゝ元白雪常刀とそ
何れも白雪の俗名なり十郎忠国の世
て伝ゝ公へ雪一郎ゝる一正なりて羽州のを
なりと俗説忠国の事御知食されを高沢よ

市右衛門を家下見より十郎（実名武任）内ゝ迫文を
改て清士を集め家上家を亡さんとに義光
愛ゝ氏事を密石志村九郎三郎（長谷堂の俗説後ゝ伊達といふ）
を使者とし家上家の系図兼白雪一郎お源
山本左三郎といふものを者として伝公
の出機嫌を窺ふ九郎三郎出目見作付られ
市右の上代ゝ系図出後ゝ家上出羽守と
左衛門尉ゝ見より義光智謀を以武任
を討んとゝ石民家尾張を携家より来ハ
十郎の息女を義光の妹ゝに嫁し永く安